

日本製  
MADE IN JAPAN



チェンジャーB型 行燈フェイス



ウオームシェルフ (オプション)

従来の薪ストーブの常識をかえたエコストーブ

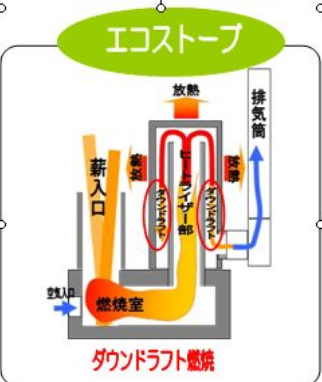
- 従来の薪ストーブの燃費向上を実現
- 今まで不向きだった材料が主燃料となる  
(杉、松などの針葉樹、木チップ、竹、長尺材、縛物端材、パレットなど木質材であれば燃料として活用できる)
- 薪を縦に入れ下側から燃焼させる
- 灰は従来の薪ストーブよりも減少します。
- 煙突を横引きに設置可能ため煙突熱を室内暖房に活用できる。

- 煙突はシングル煙突で問題なし  
亜鉛スパイラル管で問題なし。  
(断熱煙突の必要はありません)
- 煙突施工費も低コストで削減されます。
- 着火が容易で煙もきれい
- 煙突温度が低く、火災の心配が少ない
- 煙突位置、向きを自在に変更できる。



室内の長い煙突で暖かく！  
長い薪で長時間燃焼！  
煙突の煤タールの付着が少ない！  
乾燥した薪でなくてもよく燃える！  
風に強く煤煙も少なく燃焼しているかわかんないほど！

ヒートライザー（断熱煙突）とは



ヒートライザーは煙突を断熱することで、煙突内の温度を上げ、上昇排気力（ドラフト）を高める。

断熱は、煙突内温度を上げるのが目的



煙突内温度が上がると、なぜ排気力が上がるか？

ロケット、ヒートライザー燃焼方式

薪ストーブとエコストーブの相違点2



**従来型薪ストーブ** アップドラフト燃焼 対流、輻射放熱  
空気を暖めることで、間接的に人間を暖める  
燃焼状態が薪により不安定  
排気効率を上げるため煙突設置に設置条件とコストが必要。



**エコストーブ** ダウンドラフト燃焼 貯熱、ヒートライザー  
蓄熱ユニット（ヒートライザー）を暖めることで放熱効果を高める。  
一定の燃焼状態で持続燃焼  
煙突からの廃熱がほとんど無く室内が暖かい



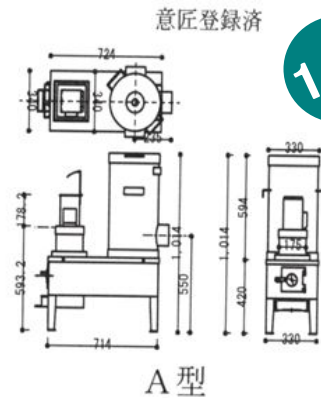
チェンジャー（エコストーブ）仕様図

A型仕様

CHANGER A型

長尺薪投入口

W330XH1014XD734mm  
排煙径φ120mm

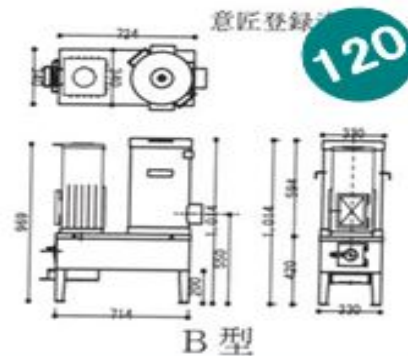


B型仕様

CHANGER B型

角材薪投入口

W330XH1014XD734mm  
排煙径φ120mm

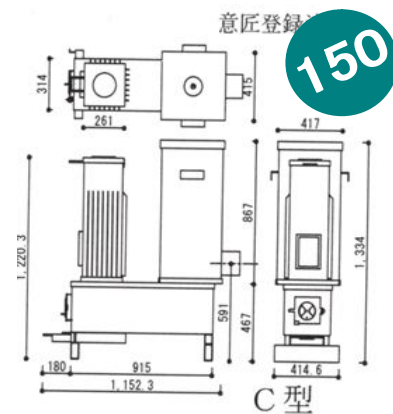


C型仕様

CHANGER C型

角材薪投入大型サイズ

W330XH1334XD915mm  
排煙径φ150mm



GX型仕様

CHANGER D型

長時間業務用大型サイズ

W500XH1700XD1200mm  
排煙径φ200mm

